シャーシの取り付け

- ラックの設置，1 ページ
- 新しいスイッチの開梱と検査，2 ページ
- シャーシへのラックの取り付け方法の計画，3 ページ
- 2 支柱ラックへのシャーシの設置，3 ページ
- 4 支柱ラックへのシャーシの設置，7 ページ
- シャーシのアース接続，14 ページ
- スイッチの電源投入，16 ページ

ラックの設置

スイッチの設置前に、概要「」に記載された要件を満たす、標準的な 4 支柱 19 インチ EIA データセンター ラック（またはこのようなラックを含むキャビネット）を設置する必要があります。

ステップ 1 ラックにシャーシを移動する前に、コンクリート床にラックをボルトで固定します。

警告 ステートメント 1048：ラックの安定性

安定性に注意してください。 ラックの安定装置をかけるか、ラックを床にボルトで固定してから、保守のために装置を取り外す必要があります。 ラックを安定させないと、転倒することがあります。

ステップ 2 ラックが接合構成になっている場合はアースに接続します。 この操作により、スイッチとコンポーネントを簡単に接地し、静電気防止用リストストラップを接地して、取り付け前にアースされていないコンポーネントを扱うときに静電破壊を防止することができます。

ステップ 3 ラックに 1 つまたは 2 つの電源を取り付けます。 AC 電源の場合は、電源コンセントを用意します。 DC 電源の場合は、電源コードを接続するための端子が付いた回路ブレーカーを用意します。

警告 ステートメント 1018：電源回路

装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

（注） 電力冗長性を使用していない場合、または、電源冗長性を使用している場合は、1つの電源装置だけが必要です。 グリッド冗長性を使用している場合は、2 つの電源装置が必要です。

新しいスイッチの開梱と検査

新しいシャーシを設置する前に開梱して検査し、注文したすべての品目が揃っていることと、輸送中にスイッチが損傷していないことを確認します。 損傷または欠落しているものがある場合は、カスタマー サービス担当者にすぐに連絡してください。

注意 シャーシまたはそのコンポーネントを取り扱うときには、常に静電気防止手順に従って静電破壊を防止してください。 この手順には、静電気防止用リスト ストラップを着用してアースに接続する作業が含まれますが、これに限定されません。

ヒント スイッチを取り出したあと、梱包用の箱は廃棄しないでください。 梱包用の箱は平らにして保存します。 今後システムを移動するか輸送する必要がある場合、このコンテナが必要になります。

ステップ 1 カスタマーサービス担当者から提供された機器リストと、梱包品の内容を照合します。注文したすべての品目が揃っていることを確認してください。
梱包品には次の内容が含まれています。

- 次のコンポーネントが取り付けられたスイッチ シャーシ：
  - 2 つの電源モジュール
    - ポート側吸気エアーフロー 1200-W AC 電源（N9K-PAC-1200W）
    - ポート側排気エアーフロー 1200-W AC 電源（N9K-PAC-1200W-B）
  - 2 つのファン モジュール
    - ポート側吸気エアーフロー（N9K-C9300-FAN3）
    - ポート側排気エアーフロー（N9K-C9300-FAN3-B）
- スイッチのアクセサリ キット

ステップ 2 箱の内容に損傷がないこと確認します。

ステップ 3 不一致または損傷がある場合は、次の情報をカスタマー サービス担当者に電子メールで送信します。

- 発送元の請求書番号（梱包明細を参照）
- 欠落または破損している装置のモデル番号およびシリアル番号
- 問題の説明、およびその問題がどのように設置に影響するか

シャーシへのラックの取り付け方法の計画

スイッチは、次の方向のいずれかで冷却空気がスイッチを流れるように設計されています。

- ポート側から入って電源モジュール側から抜ける（ポート側吸気エアーフロー）
- 電源側から入ってポート側から抜ける（ポート側排気エアーフロー）

ポート側吸気エアーフローでは、スイッチのポート側吸気ファンと AC 電源モジュールを赤紫色で色分けする必要があります（DC 電源は緑色で色分けします）。 ポート側排気エアーフローでは、スイッチのポート側排気ファンと AC 電源モジュールを青色で色分けする必要があります。スイッチのポートが接続先のデバイスのポートの近くに配置されるように、または、ファンと電源モジュールが都合よくメンテナンス アイル内に配置されるように、スイッチの配置を計画してから、コールドアイルからホットアイルへの適切な方向で冷却空気を移動させるモジュールを注文することができます。

（注） 同じスイッチ内のすべてのファンと電源モジュールが、エアーフローの方向が同じであり、スイッチの空気取り入れ口がコールド アイル内に配置されている必要があります。

2 支柱ラックへのシャーシの設置

シャーシを取り付ける前に、ラックがデータセンターの床に完全に固定されていることを確認します。

シャーシを設置する前に、取り付けブラケットをシャーシに取り付ける必要があります。

シャーシへのセンター マウント ブラケットの取り付け

直角ブラケットをシャーシの各側面に取り付ける必要があります。 このブラケットは、シャーシを中心に保ち、2 支柱ラックの上に固定します。

（注） 2支柱ラックにシャーシを取り付ける場合は、シャーシへのフロントマウントブラケットの取り付け，（10 ページ） を参照してください。

警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。 安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

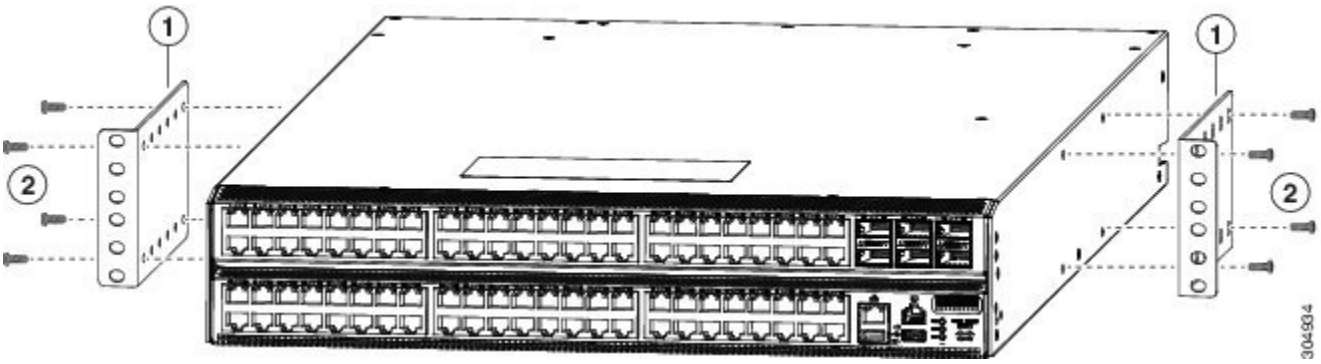
はじめる前に

- 2 支柱ラックにシャーシを取り付ける場合は別のセンターマウント ブラケットを別途発注する必要があります。別途注文しない限り、これらのブラケットにはシャーシは付属されません。
- 次の工具と部品を備えている必要があります。
  - 手動のプラス トルク ドライバ
  - センターマウント ブラケット キット

ステップ 1 2つのセンターマウントブラケットの一方をシャーシの左側または右側に合わせ、角部がシャーシの前面に向いていることを確認します（次の図を参照）。

必ず、ブラケットの大きい面の 4 つのネジ穴をシャーシの左右どちらかの側の中央付近にある 4 つのネジ穴に合わせます。

図 *1*：シャーシの側面へのセンターマウント ブラケットの位置合わせと取り付け



1	大きい面がシャーシに面していて長い面がシャーシの前面（ポート側）に面しているセンターマウント ブラケット。 ブラケットのネジ穴 4 つをシャーシの側面にあるネジ穴 4 つに合わせます。	2	ブラケットをシャーシに固定するために使用する 4 つの M4 x 8 mm ネジ。

ステップ 2 4 つの M4 x 8 mm ネジを使用してブラケットをシャーシに取り付けます。 ネジはそれぞれ 11 ～ 15 インチポンド（1.2 ～ 1.7 N·m）で締めます。

ステップ 3 ステップ 1 および 2 を繰り返して、2 つ目のセンターマウント ブラケットをシャーシのもう一方の側面に取り付けます。

次の作業

2 支柱ラックにシャーシを取り付けることができます。

2 ポスト ラックへのシャーシの設置

電源とファン モジュールが必要なエアーフローに適切なアイルに収容されているラックの上部付近にシャーシを配置する必要があります。 モジュールにポート側排気エアーフロー用の青色のストライプが付いている場合、モジュールをコールドアイル側に配置する必要があります。モジュールにポート側吸気エアーフロー用の赤紫色のストライプが付いている場合、モジュールをホットアイル側に配置する必要があります。

警告 ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

警告 ステートメント 1032：シャーシの持ち上げ

けがまたはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対にしないでください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

はじめる前に

- 2 支柱ラックが適切に設置され、コンクリート床に固定されていることを確認します。
- 2 つのセンターマウント ブラケットがシャーシの各面の中央にしっかり固定されていることを確認します。
- 別途用意したラックマウント ネジが 6 つあることを確認します（通常 M6 x 10 mm のネジまたはラックの垂直取り付けレールに適切なネジ）。
- シャーシを設置するには少なくとも 2 人必要です。

警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

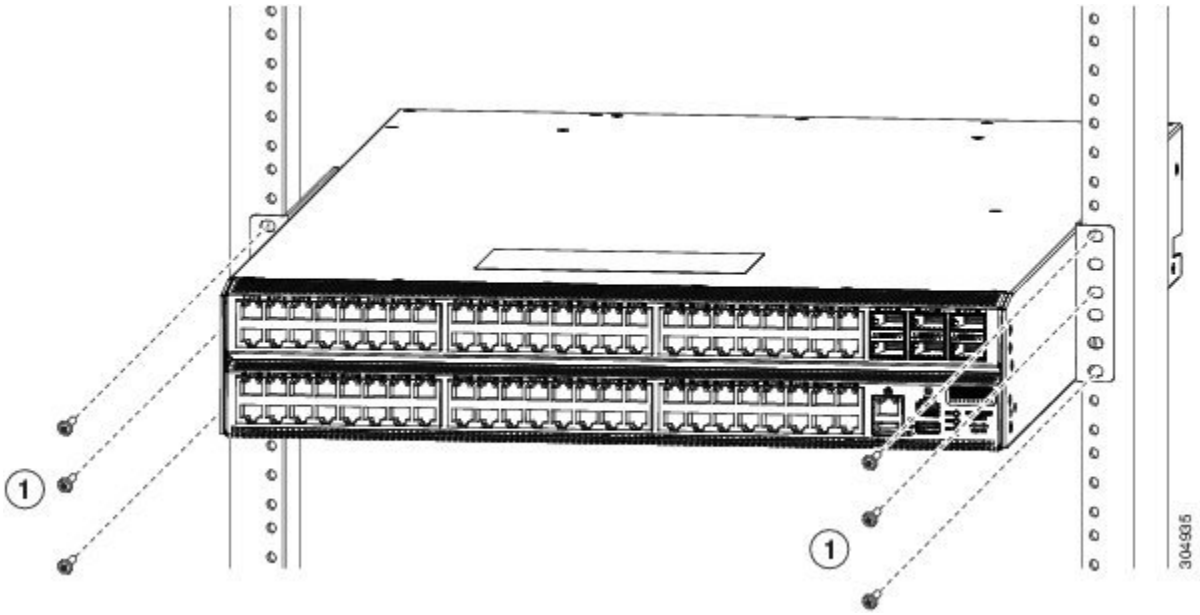
ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。 安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

ステップ 1 1 人の人が、ファンと電源モジュールが適切なアイルに収容されているラックの上部付近で、センターマウント ブラケットのネジ穴と 2 支柱ラックのネジ穴が揃う位置にシャーシを配置します。
モジュールにポート側排気エアーフロー用の青色のストライプが付いている場合、モジュールをコールドアイル側に配置する必要があります。モジュールにポート側吸気エアーフロー用の赤紫色のストライプが付いている場合、モジュールをホット アイル側に配置する必要があります。

（注） スイッチに DC 電源が付属している場合は、ポート側吸気エアーフローと緑色のハンドルが付いており、ポートをコールド アイル内に配置する必要があります。

図 *2* : *2* 支柱ラックへのシャーシの取り付け



1	シャーシの各面を2支柱ラックに固定するための別途用意したネジ3本（通常 M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切なネジ）		

ステップ 2 もう一人が、別途用意したラックマウント ネジ 3 本（通常 M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切なネジ）を各センターマウント ブラケットに固定してシャーシをラックに取り付けます。 各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチポンド（4.5 N.m）のトルクを使用します）。

4 支柱ラックへのシャーシの設置

シャーシを取り付ける前に、ラックがデータセンターの床に完全に固定されていることを確認します。

シャーシをラックに設置する前に、下部支持レールをラックに取り付け、取り付けブラケットをシャーシに取り付けます。

ラックへの下部支持レールの取り付け

取り付けているスイッチ シャーシには、調整可能な2本の下部支持レールが付属しており、シャーシを支えるために 4 支柱ラックに接続できます。 これらの下部支持レールにはそれぞれ 2 つの部品があります。一方は他方にスライドするので、間隔が 36 インチ（91 cm）未満の前面および背面の取り付けポストにラックを合わせることができます。 各下部支持レールでは、もう一方のレールにスライドするレールの半分にシャーシの止め具があり、それはシャーシのモジュール端部に合致します。 ファンと電源モジュールが熱気を排出するように設計されている（赤紫色で色分けされたポート側吸気エアーフロー）のか、冷気を取り込むように設計されている（青色で色分けされたポート側排気エアーフロー）のかに応じて、ファンと電源モジュールが次のように適切なアイルに収まるように、シャーシ止め具の付いた側のレールの位置を決定する必要があります。

- ポート側吸気（赤紫色のマーク）エアーフローでは、シャーシ止め具の付いた下部支持レールがラックのホット アイル側にある必要があります。
- ポート側排気（青色のマーク）エアーフローでは、シャーシ止め具の付いた下部支持レールがラックのコールド アイル側にある必要があります。

警告 ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

はじめる前に

シャーシに下部支持レールを取り付ける前に、次を実行する必要があります。

- 4 支柱ラックまたはキャビネットが取り付けられていることを確認します。
- 他のデバイスがラックまたはキャビネットに格納されている場合は、重いスイッチが軽いスイッチの下に取り付けられていて、少なくとも 台のラック ユニットが空いていてスイッチを取り付けられることを確認します。
- 下部支持レール キットがスイッチのアクセサリ キットに入っていることを確認します。
- 下部支持ブラケットをラックに取り付けるためのネジが 8 本あることを確認します（通常は M6 X 10 mm のネジまたはラックの垂直取り付けレールに適したネジ）。

警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。 安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

ステップ 1 シャーシに取り付けられたファンと電源モジュールを確認して、下部支持レールをラックにどのように配置するかを決定します。

- モジュールに青色のストライプが付いている場合（ポート側排気モジュール）、シャーシ止め具がコールド アイル側になるように下部支持レールを配置する必要があります。
- モジュールに赤紫色のストライプが付いている場合（ポート側吸気モジュール）、シャーシ止め具がホット アイル側になるように下部支持レールを配置する必要があります。

ステップ 2 1 本の下部支持レールを構成する 2 つのスライダを切り離して、シャーシ止め具の付いた側をファンと電源モジュールに適切なアイルの近くに配置します。 また、下部支持レールの上に少なくとも 台の空いているラック ユニットがあり、シャーシを容易に取り付けることができることを確認します。

ステップ 3 下部支持レールの半分をラック支柱の垂直取り付けレールに接続するには、別途用意したネジ（通常 M6 X 10 mm のネジ）2 本を使用してください。 各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチ ポンド（4.5 N.m）のトルクを使用します）。

ステップ 4 下部支持レールの残り半分をレール セットの半分にスライドさせ、別途用意したネジ（通常 M6 X 10 mm のネジ）2本を使用して、その部分をラックの垂直取り付けレールに固定します。 各ネジは、そのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチ ポンド（4.5 N.m）のトルクを使用します）。

ステップ 5 ラックの反対側に他の拡張式下部支持レールを取り付ける場合は、ステップ 2 および 3 を繰り返します。

（注） 2 つの取り付けられた下部支持レールについて、シャーシの止め具が同じアイルの近くにあり（両方がホット アイルまたはコールド アイルの近くにある）、両方のレールが水平で互いに同じ高さであることを確認します。 高さが異なる場合は、高いほうのレールを低いほうの高さに合わせます。

次の作業

シャーシに 2 つのフロントマウント ブラケットを取り付けることができます。

シャーシへのフロントマウント ブラケットの取り付け

直角ブラケットをシャーシの各側面に取り付ける必要があります。 このブラケットは、シャーシを 4 支柱ラック上の適切な位置で支えます。

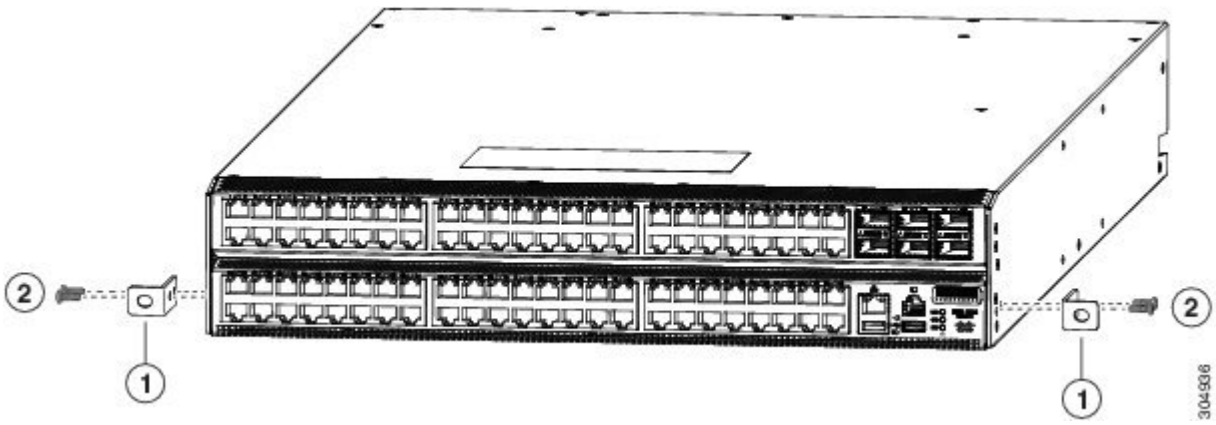
（注） 2 支柱ラックにシャーシを取り付ける場合は、シャーシへのセンター マウント ブラケットの取り付け, （3 ページ） を参照してください。

はじめる前に

- 次の工具と部品を備えている必要があります。
  - 手動のプラス トルク ドライバ
  - フロントマウント ブラケット（2 個）とネジ（4 個）（スイッチ アクセサリ キットにあります）

ステップ 1 2 つのフロントマウント ブラケットの 1 つの一方の面にある 2 つの穴をシャーシの左側または右側の 2 つの穴に合わせます（次の図を参照）。
ブラケットのもう一方の面がシャーシの前面（ポート端）に向いていることを確認します。

図 *3*：シャーシの側面へのセンターマウント ブラケットの位置合わせと取り付け



1	2 つのネジ穴の位置がシャーシの 2 つのネジ穴に合っていて、1 つのネジ穴がシャーシの前面（ポート側）に向いているフロントマウント ブラケット。	2	ブラケットをシャーシに固定するために使用する 2 つの M4 x 6 mm ネジ。

ステップ 2 2 つの M4 x 6 mm ネジを使用してブラケットをシャーシに取り付けます。 ネジはそれぞれ 11 ～ 15 インチポンド（1.2 ～ 1.7 N·m）で締めます。

ステップ 3 ステップ 1 および 2 を繰り返して、2 つ目のセンターマウント ブラケットをシャーシのもう一方の側面に取り付けます。

次の作業

4 支柱ラックにシャーシを取り付けることができます。

4 支柱ラックへのシャーシの設置

電源モジュールの端がレールの端にあるシャーシ止め具にロックされ、シャーシのフロントマウントブラケットがラックのフロントマウント レールに接触するように、シャーシを下部支持レールにスライドさせる必要があります。

警告 ステートメント 1074：地域および国の電気規則への適合

装置は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。

警告 ステートメント 1032：シャーシの持ち上げ

けがまたはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、またはカードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対にしないでください。これらのハンドルは、シャーシの重さを支えるようには設計されていません。

はじめる前に

- 4 支柱ラックが適切に設置され、コンクリート床に固定されていることを確認します。
- ファンと電源モジュールが次のように適切なアイルに収まるように、下部支持レールが設置されていることを確認します。
  - 赤紫ストライプのある（ポート側吸気エアーフロー）モジュールは、ホットアイルに配置されます（下部支持レールのシャーシ止め具はホットアイルのそばに配置されます）。
  - 青のストライプのある（ポート側排気エアーフロー）モジュールは、コールドアイルに配置されます（下部支持レールのシャーシ止め具はコールドアイルのそばに配置されます）。

（注） スイッチにDC電源が付属している場合は、ポート側吸気エアーフローと緑色のハンドルが付いており、ポートをコールド アイル内に配置する必要があります。

- 2 つのフロントマウント ブラケットが、ポート端でシャーシの側面にしっかり固定されていることを確認します。
- 別途用意したラックマウント ネジが 2 つあることを確認します（M6 x 10 mm のネジまたはラックの垂直取り付けレールに適切なネジ）。

警告 ステートメント 1006：ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

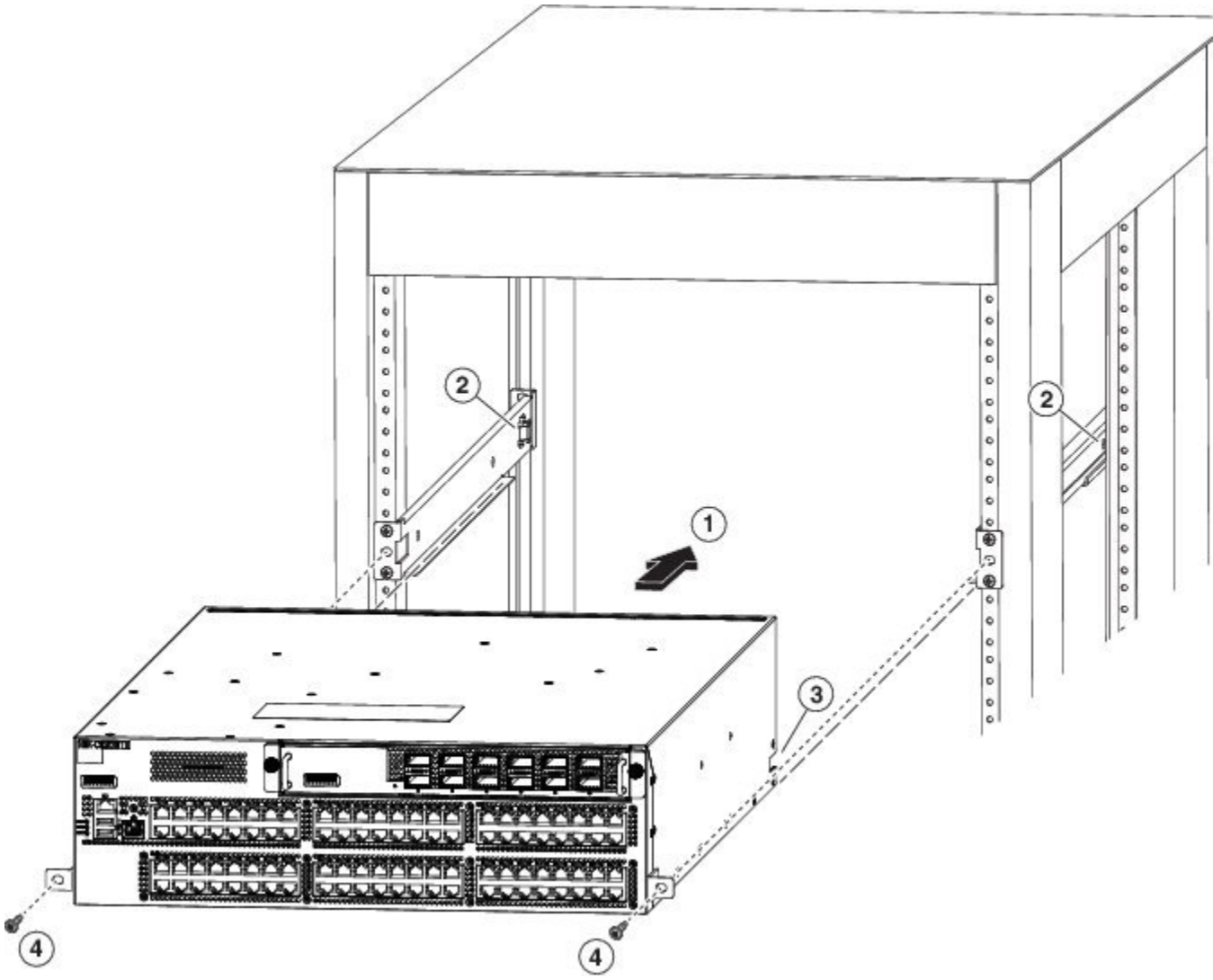
ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。 安全を確保するために、次のガイドラインを守ってください。

- □ ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- □ ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- □ ラックに安定器具が付属している場合は、装置の設置や保守作業の前に、その安定器具を取り付けてください。

ステップ 1 シャーシの電源モジュールの端をラックに取り付けられた下部支持レールにスライドさせます。
電源モジュールのそばのシャーシの側面が、下部支持レールのシャーシ止め具に固定され、フロントマウント ブラケットがラックに接触していることを確認します（次の図を参照）。

（注） 下部支持レールを長距離延長すると、シャーシを設置するときにレールがわずかに外側に曲がることがあり、レールの遠端のシャーシ止め具がシャーシの端に合致しない場合があります。この場合は、サイド レールをシャーシの側面に向けて押し、シャーシ止め具がシャーシ内に入りシャーシをラックの適切な位置で支えられるようにします。

図 *4*：下部支持レールへのシャーシのスライド



1	シャーシがレールの端のシャーシ止め具でロックされるように、シャーシの電源モジュールの端を下部支持レールにスライドします。	3	下部支持レールのシャーシ止め具に対するシャーシの各側面にある受入穴。

2	シャーシを支えるシャーシ止め具（ファンと電源モジュールに必要なアイルのそばに配置されている）。	4	シャーシの各面をラックに固定するための別途用意したラックマウント ネジ（M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切な他のネジ）。

ステップ 2 別途用意したラックマウント ネジ（M6 x 10 mm のネジまたはラックに適切な他のネジ）を使用して、シャーシの 2 個の取り付けブラケットをラックに取り付け、それぞれのネジをそのネジに適したトルクまで締め付けます（M6 x 10 mm ネジの場合は、40 インチポンド（4.5 N·m）のトルクを使用します）。

シャーシのアース接続

次の方法で、シャーシと電源モジュールをアースに接続するとスイッチは接地されます。

- シャーシを（アース パッドで）データセンターのアースに接続します。 ラックが完全に接合されてアースされている場合、スイッチをラックに接続することでスイッチをアースできます。

（注） 電源モジュールがアースされていなかったりスイッチに接続されていない場合でも、シャーシのアース接続は有効です。

- 電源モジュールを AC 電源に接続すると、各 AC 電源モジュールがアースに自動的に接続されます（スイッチの電源投入，（16 ページ）を参照）。
- 電源ケーブルをコネクタ ブロックに接続し、コネクタ ブロックを電源モジュールに接続すると、各 DC 電源モジュールがアースに接続されます（スイッチの電源投入，（16 ページ）を参照）。

警告 ステートメント 1024：アース導体

この装置は、アースさせる必要があります。 絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。 アースが適切かどうかはっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

警告 ステートメント 1046：装置の設置または交換

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

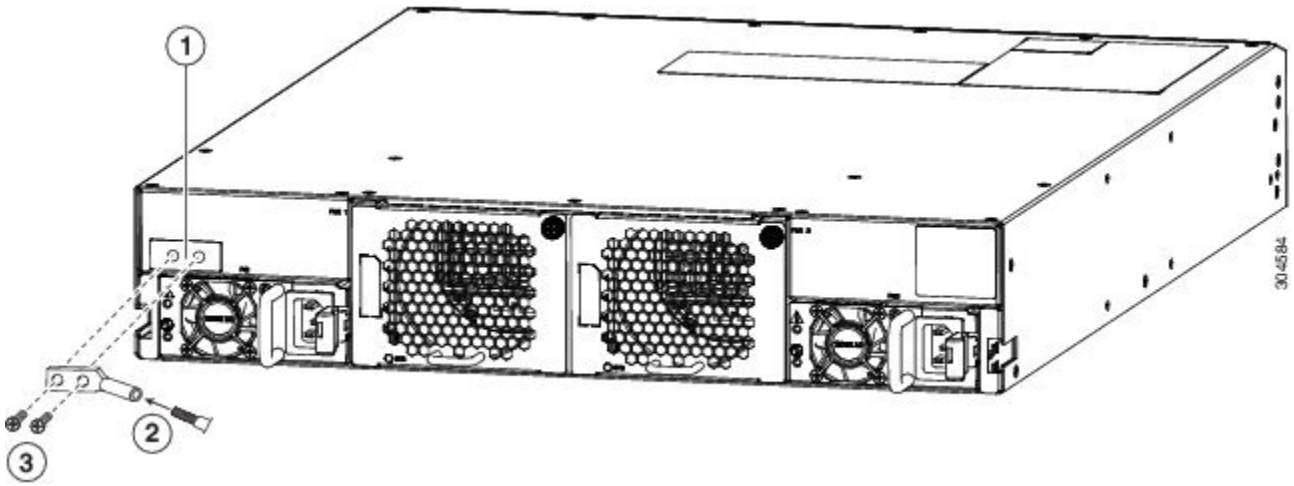
はじめる前に

シャーシをアースする前に、データセンター ビルディングのアースに接続できるようになっている必要があります。 データセンターのアースに接続している接合ラック（詳細についてはラックメーカーのマニュアルを参照）にスイッチシャーシを設置した場合は、アースパッドをラックに接続してシャーシをアースできます。 接合ラックを使用していない場合は、シャーシのアースパッドをデータセンターのアースに直接接続する必要があります。

ステップ 1 ワイヤ ストリッパを使用して、アース線の端から 0.75 インチ（19 mm）ほど、被膜をはがします。

ステップ 2 アース線の被膜をはぎとった端をアース ラグの開放端に挿入し、圧着工具を使用してラグをアース線に圧着します（次の図の 2 を参照）。 アース線をアース ラグから引っ張り、アース線がアース ラグにしっかりと接続されていることを確認します。

図 *5* : ***Cisco Nexus 93120TX*** **シャーシのアース接続**



1	シャーシのアース パッド	3	アース ラグをシャーシに固定するために使用する 2 本の M4 ネジ
2	接地ケーブル、0.75 インチ （19 mm）の一方の端からはがされた絶縁体、アース ラグに挿入され、所定の位置に圧着されます。		

ステップ 3 アース ラグを 2 本の M4 ネジでシャーシのアース パッドに固定し（前の図の 1 と 3 を参照）、11 ～ 15 インチ ポンド（1.24 ～ 1.69 N·m）のトルクでネジを締め付けます。

ステップ 4 アース線の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続して、スイッチに十分なアースが確保されるようにします。ラックが完全に接合されてアースされている場合は、ラックのベンダーが提供するマニュアルで説明されているようにアース線を接続します。

スイッチの電源投入

スイッチに電源投入するには、AC 電源に 1 個または 2 個の電源モジュールを接続する必要があります。 使用する電源モジュールと電源の数は、次のように必要な電源の冗長性のタイプによって異なります。

- 電源の冗長性が必要ない場合は、電源モジュールを 1 つだけ電源に接続します。
- 電源モジュールの冗長性が必要な場合は、電源モジュール 2 個を 1 つまたは 2 つの電源に接続します。
- グリッドの冗長性が必要な場合は、2 つの電源モジュールを 2 つの異なる電源に接続します。

警告 ステートメント 7012：AC 電源ポートとインターフェイスをとる機器

この装置は、NFPA 70 National Electrical Code（NEC）に従ってサービス機器でサージ保護デバイス（SPD）に付属の AC 主電源に接続します。

警告 ステートメント 1004：設置方法

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

警告 ステートメント 1018：電源回路

装置を電気回路に接続するときに、配線が過負荷にならないように注意してください。

警告 ステートメント 1029：ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3 つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への電磁干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。 システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けた状態で運用してください。

はじめる前に

- ラックに取り付けられ、アースに接続されているスイッチ
- ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブル
- 使用する電源ケーブルの範囲内にある必要なアンペア数の電源

ステップ 1 次のように、各電源モジュールを電源に接続します。

- AC 電源モジュールの接続
  1. ご使用の国または地域に推奨される電源ケーブルを使用して（電源コードの仕様を参照）、電源ケーブルの C13 プラグを電源モジュールの電源コンセントに接続します。
  2. ケーブルが偶発的に抜けないように、電源モジュールのケーブル固定クリップを C13 プラグの上に回します。
  3. 電源ケーブルのもう一方の端を AC 電源に接続します。
  4. LEDが緑に点灯していることを確認します。

     LED が消灯している場合は、AC 電源の回路ブレーカーがオンになっているかを確認します。

- DC 電源モジュールの接続（48 V DC 電気コネクタ ブロックの配線を参照）

（注） グリッドの冗長性が必要な場合は、各電源モジュールが異なる電源から電力供給されていることを確認します。

ステップ 2 電源モジュールを1つだけ接続している場合は、空いている電源モジュールスロットにブランクの前面プレートがあることを確認します。